

ほぼ月刊 桑名歴史こぼなし

Vol.4 2019年6月1日発行

編集・発行：©社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会 文化スポーツ振興課 TEL0594-22-8311

<瀬古利彦が福岡国際マラソンで四回優勝>

桑名市友村出身の瀬古利彦（以下敬称略）は、久米小学校、明正中学校、四日市工業高等学校を経て早稲田大学教育学部へと進学し、昭和52（1977）年12月4日に二年生で第31回福岡国際マラソンに出場したところ、日本人トップの5位でゴールしました。その後、昭和53（1978）年12月3日の第32回大会、昭和54（1979）年12月2日の第33回大会、昭和55（1980）年12月7日の第34回大会を三連覇し、昭和58（1983）年12月4日の第37回大会でも優勝しました。同大会で四回の優勝を飾ったのは日本人では唯一であり、全大会を通じてドイツ連邦共和国（西ドイツ）のミュンヘンで開催された第20回オリンピック競技大会の金メダリストであるフランク・ショーター（1947～、アメリカ合衆国）のみです。

<金栗四三とともに福岡国際マラソン記念碑に名を刻む>

福岡国際マラソンは、マラソンの父と称された金栗四三の功績を記念して昭和22（1947）年12月7日に第1回金栗賞朝日マラソンとして熊本県熊本市で開催されたことに始まります。当初、開催地は全国各地を巡り、昭和28（1953）年12月6日の第7回大会と昭和31（1956）年12月9日の第10回大会は名古屋市で開催されています。第13回以降は開催地が福岡市に固定され、第28回大会からは現在の大会名となりました。福岡県の博多駅（福岡市博多区）前には昭和61（1986）年12月1日に第50回大会を記念して福岡国際マラソン選手権大会組織委員会によって建てられた「福岡国際マラソン歴代優勝者の足形」碑があり、そこには金栗の書「体力・気力・努力」とともに歴代優勝者の足形が並んでおり、もちろん瀬古利彦の足形もあります。NHK大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」のロケ地となった六華苑、その主人公金栗四三ゆかりの大会で優勝した瀬古利彦、ここからは桑名と金栗の意外な縁を感じられます。

「福岡国際マラソン歴代優勝者の足形」碑
（フリー百科事典『ウィキペディア』より）



瀬古利彦書「感謝・素直さ・反省心」碑
（桑名市芳ヶ崎・NTN総合運動公園）



<瀬古利彦とオリンピック>

現役時代の瀬古利彦の活躍は目覚ましく、**ポストンマラソン**、**シカゴマラソン**、**びわ湖毎日マラソン**などで優勝を重ね、25,000m、30,000mの**世界記録**を更新、昭和58(1983)年2月13日の第4回**東京国際マラソン**では2時間8分38秒の**日本記録**を打ち立てました。昭和55(1980)年7月から8月にかけて**モスクワ**で開催された**第22回オリンピック競技大会**では、代表に選出されたものの、日本が不参加を表明したことから出場は実現しませんでした。続く**ロサンゼルス**で開催された**第23回大会**では14位、**ソウル**で開催された**第24回大会**では9位の成績をのこし、二度のオリンピックを経験しました。



昭和63(1988)年12月18日、第1回**国際千葉駅伝**への出場を最後に引退した後は、所属する**エスビー食品**(本社東京都中央区)陸上部の監督に就任しましたが、平成24(2012)年8月31日に廃部したことから、翌年4月1日に**ディー・エヌ・エー**(本社東京都渋谷区)のランニングクラブが創設されるとともに総監督に就任しました。

<瀬古利彦と桑名>

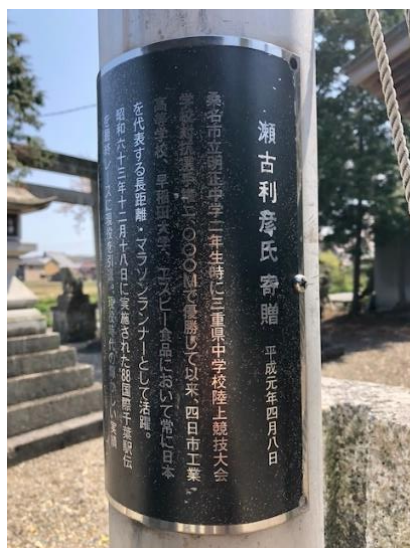
現役を引退した直後の平成元(1989)年4月8日、瀬古は地元友村に鎮座する**鞆尾神社**に幟ポールを寄贈し、これまでの活躍を記した銘板が取り付けられました。翌年6月16日には母校**明正中学校**に招かれ、**桑名市長水谷元**(1956~2018)から**桑名市ふるさと栄誉賞**を授与されました。

その後、平成15(2003)年9月7日に**桑名市総合運動公園**(現在のNTN総合運動公園)に足形銘板と記念碑が建立されました。この足形をとるために瀬古は公園事務所の倉庫で容器に足を入れたまま長時間耐えたというエピソードがあります。そして、平成28(2016)年7月8日には東京都中央区の**三重テラス**において**桑名市スポーツ親善大使**に任命され、令和元(2019)年8月4日にも**NTNシティホール**で開催される大河ドラマ「**いだてん**」トークツアーin **三重県桑名市**に出演が予定されるなど、現在に至るまで桑名市と深いつながりをもっています。

鞆尾神社幟ポール
(桑名市友村・鞆尾神社)



「瀬古利彦氏寄贈」銘板
(鞆尾神社)



「瀬古利彦足形」銘板
(NTN総合運動公園)

